

招待状の文例

知っておきたいこと

招待状の文面は、典型的な例をもとにアレンジするのが簡単です。

「お祝い事には終止符を打たない」というように、招待状の文章は、「、」や「。」などの句読点を使わず、段落の行頭も空けないのがしきたりです。また、「忌み言葉」と言っで別れや終わり、繰り返しを連想する言葉は避けるようにします。

作成時のチェックポイント

- 句読点を付けない
- 段落の行頭を空けない
- 忌み言葉を避ける
- 発送年月日を忘れずに（令和〇〇年〇月吉日）
- 日時、会場は簡潔に
- 差出人の氏名は入っていますか
- 返信の期限をはっきりと

結婚式の招待状の差出人はいったい誰にするのが良いのでしょうか。きちんとした決まりはないようですが、目上の方が多くなるので、失礼の無いように親の名前で出すことが多いようです。親戚の方などは、ご本人の名前にあまり馴染みの無い場合などもありますし、会社の上司などでも親の名前で出した方がよりフォーマルです。

最近では、自分たちの結婚式なのだから、気心の知れた人達には本人の名前で出したいという方も多いようですが、くれぐれも失礼の無いように心がけたいものです。友人や同僚には本人の名前で、親戚や上司には親の名前でというように2種類の招待状を用意するのも1つのアイデアです。

差出人本人

フォーマル A

謹啓 初春の候 皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます
さて この度 私たちの婚約がととのい 結婚式を挙げる運びとなりました
つきましては 末永くご懇情をいただきたく
ささやかですが粗餐を用意させていただきました
ご多用中まことに恐縮でございますが ご光臨賜りますよう
ご案内申し上げます 敬白

令和〇〇年〇月吉日

フォーマル B

拝啓 初春の候 皆様にはお変わりなくお過ごしのこととお慶び申し上げます
このたび 私たちは結婚することとなりました
つきましては日頃お世話になっております皆様に
私たちの門出を見守っていただきたく 心ばかりの披露宴を催します
お忙しい中 まことに恐縮ではございますが
ぜひ ご出席くださいますようお願い申し上げます 敬具

令和〇〇年〇月吉日

フォーマル C (媒酌人あり)

拝啓 初春の候 皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます
このたび私たちは 〇〇〇〇様ご夫妻のご媒酌により
結婚式を挙げることになりました
つきましては 今後ともご指導賜りたく
ささやかではございますが披露宴を催したいと存じます
お忙しいところ 恐縮ではございますが
ご出席くださいますよう ご案内申し上げます 敬具

令和〇〇年〇月吉日

フォーマルD（両親連名）

謹啓 初春の候 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます
この度 私共は結婚式を挙げることになりました
これまでのご厚情に改めてお礼申し上げますとともに
今後ともご指導ご交誼をいただきたく
ささやかではございますが ごあいさつの会を催したく存じます
お忙しいところ誠に恐縮でございますが
何卒ご出席くださいますよう お願い申し上げます 敬白

令和〇〇年〇月吉日

新郎 氏名

新婦 氏名

この度 長男 〇〇と長女 〇〇が挙式の運びとなりました
これもひとえに皆様方のご厚情の賜物と厚くお礼申し上げます
ご多用中のことと存じますが 何卒ご光臨くださいますようお願い申し上げ
併せて両人のため末永くご高誼とご指導を重ねてお願い申し上げます

令和〇〇年〇月吉日

新郎父 or 母 氏名

新婦父 or 母 氏名

フォーマルE（両親連名）

拝啓 ようやく春めいてまいりましたが
皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます
この度 私たちは結婚することとなりました
つきましては 日頃からお付き合いをいただいております皆様に
私たちの新たなる出発の証人となっていただきたく
人前にて挙式を行うことといたしました
つきましては下記の通り結婚式を行い ささやかな披露宴を催したいと存じます
お忙しい中恐縮でございますが ぜひご出席くださいますようお願い申し上げます

令和〇〇年〇月吉日

新郎 氏名

新婦 氏名

〇〇 〇〇兩人のため今後ともよろしくご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます

令和〇〇年〇月吉日

新郎父 or 母 氏名

新婦父 or 母 氏名

フォーマルF（人前式）

謹啓 お健やかにお越しのこととお慶び申し上げます
この度 私たちは結婚式を挙げることになりました
これからも末永くご指導賜ります皆様の前で
ふたりの誓いをたてることが私たちにふさわしい形と思い
人前結婚式を行いたいと思います
どうぞ私たちの思いをご理解いただき
証人としてご列席賜りますようお願い申し上げます
なお 挙式の後 心ばかりの宴の席をご用意しました
ご多用中 大変恐縮ではございますが
ぜひご出席くださいますようお願い申し上げます 敬具

令和〇〇年〇月吉日

フォーマルG（人前式）

謹啓 初春の候 皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます
このたび 私たちは新しい人生の出発を迎えることになりました
つきましては 日ごろお世話になっている皆さまの
お立会いのもとで結婚式を挙げ
ささやかな披露の小宴を催したく存じます
ご多用中まことに恐縮ではございますが
ご出席くださいますよう ご案内申し上げます 敬具

令和〇〇年〇月吉日

フォーマルH（立食パーティ）

拝啓 ようやく春めいてまいりましたが
皆様いかがお過ごしでしょうか
さてこのたび 私たちは結婚式を挙げることになりました
つきましては ご挨拶をかねまして
ご披露かたがた小宴を催したく存じますので
お忙しい折 誠に恐縮ではございますが
なにとぞご出席下さいますようご案内申し上げます
なお 当日は立食パーティとなりますので
平服でおいでいただければ幸いに存じます 敬具

〇〇〇〇年〇月吉日

フォーマル I (会費制パーティ)

拝啓 皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます
このたび 私たちは結婚式を挙げることになりました
つきましてはご挨拶を兼ねまして
ささやかではありますが披露パーティを催したいと存じます
ご多忙中恐れ入りますが ご出席いただければ幸いです
なお 当日は会費制にさせていただきましたので
ご祝儀などのお心遣いはなさいませんよう
お願い申し上げます 敬具

〇〇〇〇年〇月吉日

フォーマル J (海外挙式)

拝啓 ようやく春めいてまいりましたが
皆様にはますますご清栄のことと存じます
さて 私ども かねて婚約中でしたが
このたび憧れの地 〇〇〇にて結婚式を挙げることになりました
つきましては〇〇〇国の〇〇〇教会で挙式後
現地のレストランにてささやかなパーティを催したいと存じます
ご多忙のところ また遠方からのお越しで誠に恐縮ですが
私たちの新しい門出にぜひお立ち会いたideきたくご案内申し上げます 敬具

〇〇〇〇年〇月吉日

フォーマル K (海外挙式)

拝啓 初春の候 皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じます
このたび私たちは 〇〇月〇〇日 〇〇〇国の〇〇〇教会で
結婚式を挙げることになりました
つきましては帰国後に結婚のご報告をかねて
ささやかな披露パーティを催したいと存じます
ご多忙中まことに恐縮ではございますが
ぜひご出席くださいますよう
ご案内申し上げます 敬具

〇〇〇〇年〇月吉日

カジュアルA

拝啓 お元気でお過ごしのことと思います
突然ではありますが私達結婚することになりました
私たちの新しい門出を皆様に見守っていただきたく
ささやかながらパーティを催します

ぜひお越しくださいませよう ご案内申し上げます
皆様にお会いできるのを楽しみにしております 敬具

〇〇〇〇年〇月吉日

カジュアルB

拝啓 ようやく春めいてまいりましたが
皆様方にはお変わりなくお過ごしのことと存じます
さて 私たち〇年〇ヶ月の交際期間を経て
この度 結婚式を挙げることになりました

皆様と一緒に楽しめるアットホームなパーティにしたいと
思いますので ぜひご出席くださいませようご案内申しあげます
なお 当日はぜひ平服でお越しくださいませよう
お願い申し上げます 敬具

〇〇〇〇年〇月吉日

カジュアルC

突然ですが……
この春 私たち結婚します
つきましては 新しい人生のスタートにあたり
日頃お世話になっている皆様に 感謝の気持ちを込めて
心ばかりの披露宴を催したいと思えます
お忙しい中大変恐縮ですがご出席いただければ幸いです
なお 当日はぜひ平服でお越しくださいませよう
お願い申し上げます

〇〇〇〇年〇月吉日

子供が先に生まれた場合

拝啓 初春の候 益々ご健勝のこととお喜び申し上げます
私ども〇月〇日に結婚いたしました
事情により披露宴が日延べになっておりましたが
今後幾久しくご指導を賜りたく この度皆様にあいさつならびに
長女〇〇の紹介を兼ね披露の小宴を催したいと存じます
ご多忙のところ恐縮でございますが
ご出席を賜りますよう ご案内申し上げます 敬具

〇〇〇〇年〇月吉日

差出人両親

フォーマル A

謹啓 初春の候 皆様方には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます
このたび

新郎父 or 母氏名 新郎 名
新婦父 or 母氏名 新婦 名

との婚約が相整いまして結婚式を挙げる運びとなりました
つきましては 幾久しくご懇情賜りたく
ご披露かたがた粗餐を差し上げたいと存じます
ご多用中まことに恐縮でございますが
ご光臨賜りますようご案内申し上げます 敬具

令和〇〇年〇月吉日

フォーマル B (媒酌人あり)

謹啓 皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます
さてこのたび 〇〇〇〇様ご夫妻のご媒酌により

新郎父 or 母氏名 新郎 名
新婦父 or 母氏名 新婦 名

の婚約が相整い結婚式を挙げることになりました
つきましては 今後とも幾久しく皆様のご厚情を賜りたく
披露かたがた粗宴を催します
ご多用中まことに恐縮ではございますが
ご臨席賜りますようご案内申し上げます 敬具

令和〇〇年〇月吉日

フォーマルC（本人連名）

拝啓 初春の候 皆様方にはいよいよご健勝のこととお慶び申し上げます
このたび ○○○○様ご夫妻のご媒酌によりまして

新郎父 or 母 氏名 新郎 名

新婦父 or 母 氏名 新婦 名

の婚約相ととのい結婚式を挙げることとなりました
つきましては 挙式ののち ささやかな披露の宴を催したいと存じます
ご多忙中誠に恐縮ではございますが ご臨席くださいますよう
謹んでご案内申し上げます 敬具

令和○○年○月吉日

新郎父 or 母 氏名

新婦父 or 母 氏名

拝啓 時下益々ご清祥のこことお慶び申し上げます
さて 私ども このたび結婚式を挙げる運びとなりました
これもひとえに皆様方のおかげと感謝しております
私たちの新しい門出にぜひお立ち会いたいதாக
ご多用中とは存じますが ご臨席いただければ幸いに存じます 敬具

令和○○年○月吉日

新郎 氏名

新婦 氏名

フォーマルD（本人連名）

謹啓 初春の候 皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます
この度 ○○○○様ご夫妻のご媒約により

新郎父 or 母 氏名 新郎 名

新婦父 or 母 氏名 新婦 名

の婚約相整い挙式の運びとなりました
つきましては幾久しくご厚誼をお願い申し上げたく
披露かたがた粗餐を差し上げたいと存じます
ご多忙中誠に恐縮でございますがお繰り合せの上
是非ご光臨の栄を賜りますよう
ご案内申し上げます 敬具

令和○○年○月吉日

新郎 父親氏名

新婦 父親氏名

私たち 上記ご案内のとおり 結婚式を挙げる運びとなりました
これからは二人で力をあわせて 楽しい家庭を築いていきたいと思ひます
ご報告とご挨拶をかねまして心ばかりの小宴を催しますので
ぜひ ご出席下さいますよう お願い申し上げます

令和○○年○月吉日

新郎 氏名

新婦 氏名

フォーマルE（人前式）

謹啓 初春の候 皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます
さて この度

新郎父 or 母 氏名 新郎 名

新婦父 or 母 氏名 新婦 名

の婚約が整い挙式をいたす運びとなりました
つきましては今後とも幾久しく皆様のご厚情を賜りたく
披露かたがた粗餐を差し上げたく存じますので
ご多忙中のところ 誠に恐縮でございますが
何卒ご臨席賜りますようお願い申し上げます

尚 当日は本人たちの希望によりご出席の皆様に
結婚の承認をいただく人前結婚式を行います
なにとぞご理解いただき
ふたりの門出を見届けていただければ幸いに存じます 敬具

令和〇〇年〇月吉日

フォーマルF（海外挙式）

謹啓 初春の候 皆様には益々ご清祥のことと お慶び申し上げます
このたび

新郎父 or 母氏名 新郎 名

新婦父 or 母氏名 新婦 名

は〇月〇日 〇〇〇国 〇〇〇国教会において
結婚式を挙げてまいりました
つきましては ご報告とご挨拶をかねまして
心ばかりの小宴を催したく存じます
ご多用中まことに恐縮ではございますが
ご光臨の栄を賜りますよう ご案内申し上げます 敬具

令和〇〇年〇月吉日

差出人幹事

二次会カジュアル

ようやく春めいてまいりましたが、いかがお過ごしですか。
この度、私たちの仲間から一組のカップルが誕生しました。
学生時代より交際を続けている〇〇〇〇君と〇〇〇〇さんです。
つきましては、ふたりの門出を祝うパーティを開催し
バンドの演奏や豪華賞品付きゲームも企画しています。
どうぞ、こぞってご参加ください。

〇〇〇〇年〇月吉日

幹事

〇〇〇〇

〇〇〇〇

二次会フォーマル

拝啓 ようやく春めいてまいりましたが
皆様にはますますご活躍のことと存じます。
このたび、〇〇〇〇君と〇〇〇〇さんのおふたりが
めでたく結婚の運びとなりました。
つきましては、おふたりのご結婚をお祝いする会を設けたいと思います。
ぜひ、ご出席くださいますようお願い申し上げます。
なお、当日は平服にてお越しく下さい。

〇〇〇〇年〇月吉日

幹事

〇〇〇〇

〇〇〇〇